

19 番	山田 治義 議員	
項目	令和2年度予算大綱説明について	項目 令和2年度予算大綱説明について
<p>(要旨)</p> <p>1 財政運営について</p> <p>① 税制改正により、法人市民税の税率が下げられ、また消費税率10%導入により国内景気も後退しており、本市の財政にも少なからず影響があるものとする。本市にとって財政力の強化は大きな課題であるが、どのように課題を克服していくのか見解を伺う。</p> <p>② 歳入面では企業誘致などによる一定の効果はあるものの、少子高齢化にともなう費用の拡大や、公共施設等総合管理計画の実施など多くの行政課題を解決していかなければならない。先に公表された中期事業計画では、令和3年度以降歳出超過も予測されているが、限られた財源の中ではよりメリハリの効いた市政運営が必要と考えるが見解を伺う</p> <p>2 第6次総合計画市民アンケート結果について</p> <p>① 昨年、第6次総合計画に対する市民アンケートの結果が公表されたが、市民の評価は厳しいものであった。先のアンケートでは10・20歳代の34.6%が市外に移りたい、または移る予定と答えている。また「まちへの愛着」についても、平成28年度と比較して令和元年では6.2ポイント下がっている。</p> <p>さらには「まちづくりに対する市民意識」では30の設問のうち23項</p>		<p>(要旨)</p> <p>目で50%以下の評価であり、半数以上の設問で前回と比較して評価が下がっている。これは第6次総合計画を進めていくうえで大きな課題と考える。こうした「市民の声」について、「聞くこと第一主義」を表明されている市長はどのように受け止められたのか見解を伺う。</p> <p>② これから瀬戸市を担っていただかなければならない若者に「住みにくい」割合が増えていることに危機感を覚える。第6次総合計画を早急に点検し見直しする必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>③ 第6次総合計画評価委員会の開催が予定されているが、どのような基準で委員を選定されたのか。また施策の評価基準何を根拠にするのか、アンケート結果をどの程度評価の参考にするのか伺う。</p>

19 番	山田 治義 議員	
項目	令和2年度予算大綱説明について	項目 令和2年度予算大綱説明について
<p>(要旨)</p> <p>3 市長の予算編成への取り組み姿勢について</p> <p>① 予算編成権・執行権を有する市長として、予算を組む姿勢について</p> <p>先日、中日新聞の記事となった市長のコメントについてその真意を伺う。内容は障害者手当の廃止の方針とした記事の中で、市民から手当の効果の判断基準を問われた際に「僕の価値観です」と発言されたというものでありこの発言はどう云うことなのか。</p> <p>本来予算編成にあたっては、その事業を成果と事実に基づき評価し、廃止・縮小・継続・拡大といったような判断をすべきであると考え。加えて市長は「聞くこと第一主義」を表明され、施策の中に民意を取り入れる姿勢を示しておられることを考えれば、「僕の価値観です」というのは真逆の言葉である。執行機関の長である市長が、個人の価値観で予算編成を行えば真に公平な税の配分が行えるとは思えない。よってその真意を伺うものである。</p>	<p>(要旨)</p> <p>4 1つ目の都市像「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」について</p> <p>① 企業誘致について</p> <p>品川ゴルフ場跡地への企業誘致については、25haの契約が順調に進んでいることは大きな成果である。本市の財政や雇用の面で大きな前進であるが、残る5haに留まらず、本市の財政基盤強化の柱として今後、さらに誘致活動を推進していくことが必要だと考える。企業誘致に対する考えを伺う。</p> <p>② シティプロモーションについて</p> <p>シティプロモーションについては、本市の魅力を市内外に発信し、認知度の拡大を図るとともに、市民のシビックプライドの醸成を図るとされてきたが、先述べたアンケート結果における「まちへの愛着」についてはマイナスポイントである。「まちへの愛着」は第6次総合計画の一番の目標であり、さらに施策の見直し強化が必要と考えるが見解を伺う。</p>	

19 番	山田 治義 議員			
項目	令和2年度予算大綱説明について		項目	令和2年度予算大綱説明について
<p>(要旨)</p> <p>③ 「新せと・まるっとミュージアム推進プラン」について 現在の「まるっとミュージアム」事業をどのように検証・評価し新たなプランを策定するのか。そこにどのような効果を求めるのか見解を伺う。</p> <p>④ 都市の基盤整備について 都市の基盤整備については、品野・曾野線、陣屋線・幡中南菱野線などの市道の整備のみならず、企業誘致や定住化を進めるうえでも、広域的な幹線道路網の整備が遅れていることは大きな課題である。先のアンケートにおいても、「道路整備」は力を入れていくべき分野の上位にランクされている。都市計画道路の見直しが図られる中であるが、早期の対応が必要と考えるが見解を伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>5 2つ目の都市像「安心して子育てができ、子供が健やかに育つまち」について</p> <p>① 保育士確保について 市長は昨年3月定例会において、同僚議員の「市内民間保育園における保育士の報酬の程度や職場環境の未整備などから他市へ流出しその確保が非常に困難となっている状況」などの質問に対する答弁で「早急に対処すべき課題あり、保育士の確保定着化つながる効果的な施策や受け入れ拡大の整備を速やかに講じる」と答えられている。受け入れ拡大については今回予算化されているものの、民間保育園の抱える保育士の確保についての課題については対応できていない。 保育行政の在り方についての課題解決や今後の方針について見解を伺う。</p> <p>② 小中一貫教育について 「にじの丘学園」を除く既存の小中学校でも4月から本格的に小中一貫教育がスタートするとされているが、学習面で「にじの丘学園」との格差が生じることのないよう対応できているのか。また既存の小中学校の大規模改修が実施されているところであるが、いくつか学校で設備の改修が求められており、早期に対応すべきであるが見解を伺う。</p>		

19 番	山田 治義 議員	
項目	令和2年度予算大綱説明について	項目 令和2年度予算大綱説明について
<p>(要旨)</p> <p>③ 学校のICT環境について</p> <p>国のGIGAスクール構想を受け、学校ICT環境の整備計画を策定するとされているが、令和5年までに児童生徒に一人1台の端末を持たせるというものである。本市では遠隔教育システムを実証実験しているところであり、また小中一貫教育を進めるうえでは必須のツールであるが、財政負担も大きいと聞いている。どのように対応していくのか見解を伺う。</p> <p>6 3つ目の都市像「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」について</p> <p>① 地域包括ケアシステムについて</p> <p>地域包括ケアシステムを構築していくうえで「生きがいを持って活躍」することや「支え合う地域の土台づくり」をどう盛り込んでいくのか。</p> <p>地域包括ケアシステムは高齢者のみならず全世代を対象にすべきであり、地域の支えがなければ成り立たない。地域コミュニティの醸成が不可欠であり、まちづくりとともに施策をどう融合させていくのか見解を伺う。</p>	<p>(要旨)</p> <p>② 地域力について</p> <p>地域力の向上を図るとされているが、地域間で考え方に格差があり、全市的に展開できないことは地域包括システムを構築するうえでも大きな課題である。各地域に積極的な働きかけをすることが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>7 行政改革について</p> <p>市役所の業務改善・改革、官民の役割を見直すとされているが具体的にどのようなことを考えているのか。またコスト削減だけではなく、合わせて市民サービスが向上するものでなければならぬと考えるが見解を伺う。</p>	

19 番	山田 治義 議員			
項目	令和2年度予算大綱説明について		項目	令和2年度予算大綱説明について
<p>(要旨)</p> <p>8 公共施設総合管理について</p> <p>① PPP・PFI手法活用による学校跡地活用整備として2校分の予算が計上されているが、「民間活力の導入に関する調査は各地区の皆さんとの議論に優先させて実施するものではない」と前年の議会で答弁されている。各地区協議会とのコンセンサスは取れているのか伺う。</p> <p>② 予算大綱説明の中で「瀬戸サイト」や「旧山繁商店」については触れられていないが、これらを含めた中心市街地のランドデザインを描いたうえで公有地の有効的な活用を進めるべきと考えるが見解を伺う。また急ぐ理由は何か伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>9 ジブリパーク整備構想について</p> <p>本市に隣接する青少年公園に2022年にジブリパークが開設される。愛・地球博開催は期間限定のイベントであり、期待ほど本市への経済効果はなかった。ジブリパークは愛知県が本格的に取り組む事業であることと、世界中からの集客が見込まれる公園であり、本市への誘客対策を進めていく必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>10 瀬戸市はじまって以来の本市出身オリンピック選手誕生か</p> <p>先ごろ開催されたテコンドーの大会で本市出身の山田美諭選手が勝ち上がり、代表に内定したとの喜ばしいニュースを耳にした。本市としても市をあげて応援すべきと考えるが、見解を伺う。</p>		